

古文 読解問題 「宇治拾遺物語」 児のそら寝①

今は昔、比叡の山に児ありけり。僧たち、宵のつれづれに、「いざ、かいもちひせん。」と^ア言ひけるを、この児、心よせに聞きけり。さりとて、^①し出ださんを待ちて寝ざらんも、わろかりなと思ひて、片方に寄りて、^②寝たるよしにて、出で来るを待ちけるに、すでにし出だしたるさまにて、ひしめきあひたり。

この児、さだめておどろかさんずらんと、^イ待ちゐたるに、僧の、「もの申し候はん。おどろかせたまへ。」と言ふを、うれしとは思へども、ただ一度にいらへんも、待ちけるかともぞ思ふとて、いま一声呼ばれていらへんと、念じて寝たるほどに、「や、な起こしたてまつりそ。^ウをさなき人は、寝入りたまひにけり。」と言ふ声のしければ、^③あな、わびしと思ひて、いま一度起こせかしと、思ひ寝に聞けば、ひしひしと、ただ食ひに食ふ音のしければ、ずちなくて、無期ののちに、「えい。」といらへたりければ、僧たち笑ふこと限りなし。

問一、次の文は「宇治拾遺物語」について説明したものである。空欄に入る言葉を語群の中から選びなさい。

「宇治拾遺物語」は（ア）時代初期に書かれた（イ）文学（集）である。作者は不詳で、『宇治大納言物語』に入らなかった（イ）がまとめられたものだと言われている。後世にも影響を与え、（ウ）が書いた「鼻」は「鼻長き僧の事」から着想を得たとされている。

【語群】

・平安 ・鎌倉 ・室町 ・物語 ・説話 ・随筆 ・芥川龍之介 ・夏目漱石 ・森鷗外

問二、傍線部ア～ウの現代仮名遣いに直しなさい。（ただし、漢字は平仮名にして表記すること）

問三、傍線部①「し出ださんを待ちて寝ざらんも、わろかりなと思ひて」を現代語訳しなさい。

問四、傍線部②「寝たるよし」とあるが、なぜ児はそのような行動をとったのか、その理由として最も適切なものを次の中から選びなさい。

- ア. ぼたもちが出来上がるのを待って、寝ないで起きているのはよくないと思ったから。
- イ. たくさんおいしいものがある中で、僧たちが作るぼたもちに期待できなかったから。
- ウ. ぼたもちを食べたいと思いついたが、僧たちの騒ぎに巻き込まれるのは嫌だから。
- エ. 決まった時間になったら寝なくてはならないという決まりがあつた。

問五、傍線部③「あな、わびしと思ひて」とあるが、なぜそう思ったのか答えなさい。

読解問題 「宇治拾遺物語 〱児のそら寝〱」 ① 解答・解説

問一. ア 鎌倉 イ 説話 ウ 芥川龍之介

問二. ア いいける

…文の先頭・助詞以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「わ・い・う・え・お」に変換する。

イ まちいたる

…「ゐ」は「い」に変える

ウ おさなきひと

問三. 作り上げるのを待って寝ないのも、よくないだろうと思って

問四. ア

問五. 僧にもう一度呼ばれたら返事をしようとしていたが、それを別の僧に止められてしまったから。